

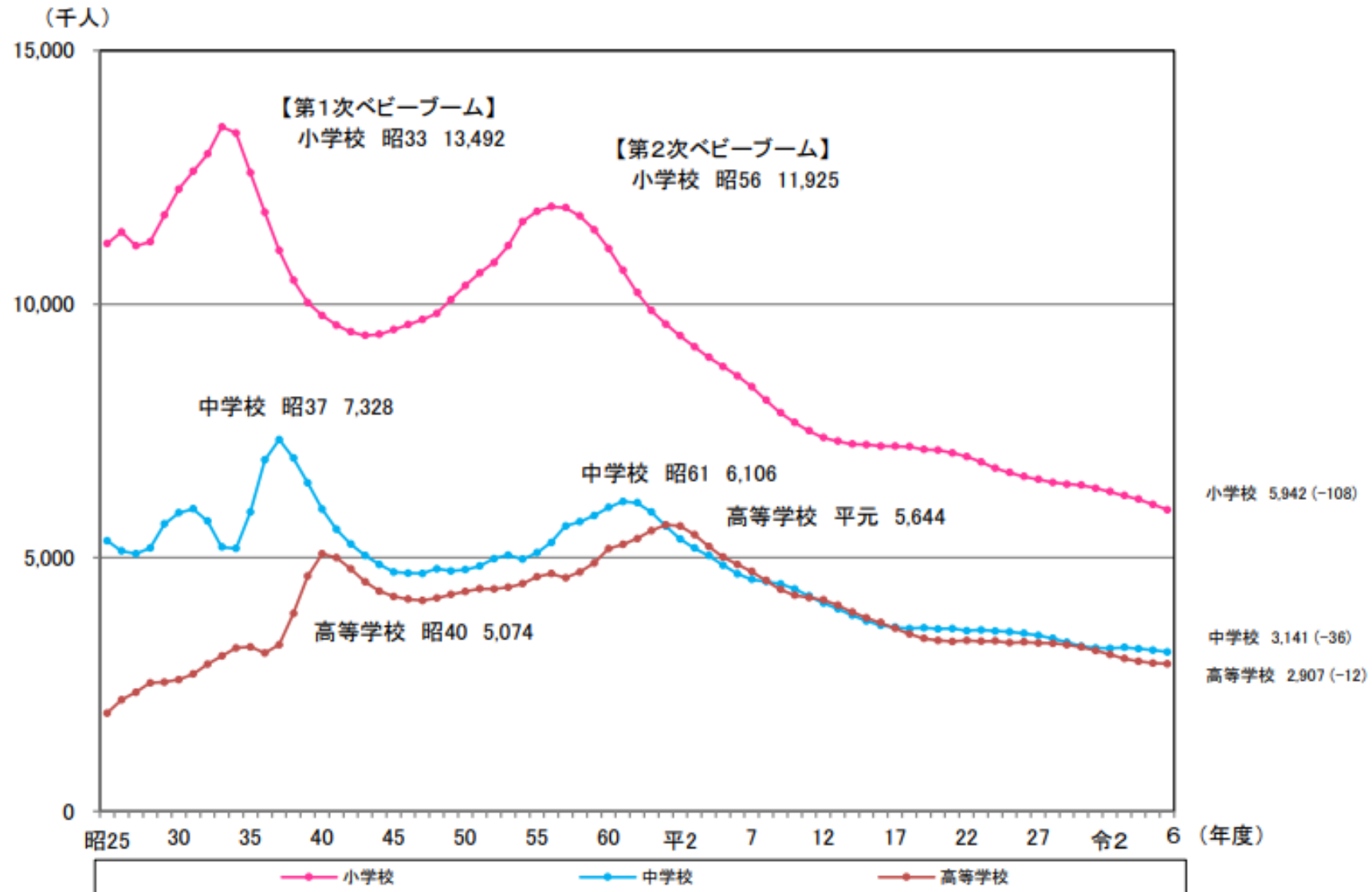
バドミントンセミナー資料

2025年 3月17日



- バドミントン競技人口の推移並びに少子化の影響について
 - 1) 日本バドミントン協会への登録人数は約30万人で小中高体連登録人数は日本選手等の活躍もあり、10年前の2014年度と比較し約6万人増加してはいるものの、学校部活動は少子化及び指導者の減少から、特に中学校の団体競技運動部を中心に、10年間で男女合計4,000部の部活が廃部となっている。今後も少子化の継続により、小中高生の合計人数は年間15万人以上減少するものと考えられる事から、各競技団体に於いても競技普及対策が急務となる。
(協会に登録せずに年に1回以上楽しんでいる人口はバドミントン約520万人、テニス約330万人)

〈参考〉各学校段階ごとの在学者数の推移 (文部科学省学校基本調査より)



■バドミントン日本市場規模 (国内推定350~400億円)

(ヨネックス調べ)

- ①選手用ラケット/60万本
- ②張り上げラケット/20万本
- ③水鳥シャトル/300万DZ
- ④ナイロンシャトル/15万DZ
- ⑤ストリング/400万張
- ⑥シューズ/60万足

2/7発表 ヨネックス2025年3月連結

通期予想134,000百万円

■バドミントン世界市場規模 (ヨネックス調べ)

バドミントンの世界市場規模は2024年で3,000億円と推定され、2030年までに5,000億円に達すると予測される。バドミントンは世界で最も急速に成長しているスポーツの1つとして、あらゆる年齢層を惹きつけており、市場の成長に寄与する要因としては、消費者の健康意識の高まり、スポーツやフィットネス活動への参加率の上昇、アジアでは中国・インド・日本ほか、ヨーロッパではイギリス・フランス・ドイツなどの地域でバドミントン人気の高まりなどが挙げられる。

■バドミンントンの歴史 (日本バドミントン協会ホームページより)

バドミンントンの起源については諸説があつて正確には分かりませんが、ラケット状のもので羽のようなものを突いて遊ぶ程度のことはそうとう昔から世界各地で行われていた可能性があります。その中でも、**1860～70年に現在のバドミンントンにつながるゲームが確立**してたと見てよいと思われれます。**1893年には英国バドミンントン協会が設立**され、ルールの統一が図られ、**1899年に第1回全英バドミンントン選手権大会が開催**されています。

日本における競技としてのバドミンントンは、**1919年以降30年代における名古屋や大阪、神戸、横浜YMCAでの講習から広まった**ようで、1933年の規則書が残っています。

1946年に日本バドミンントン協会（NBA）が創設され、**47年に第1回全日本選手権大会、1952年にIBFに加盟**。現在はBWFのルールに準じて運営されています。

- **ヨネックスとバドミントンの歴史** (ヨネックスホームページより抜粋)
 - 1957年 戦後導入されたスポーツで、ブームを迎えつつあったバドミントンに的を絞る。**ラケットメーカー・サンバタへのOEM供給契約を獲得し、サンバタの下請け**となる。バドミントンラケットメーカーとして1歩を踏み出した。
 - 1961年 設備投資を行い、オートメーション工場を目指すまでに成長する一方で、親会社のサンバタが倒産。連鎖倒産の危機に直面するも、ヨネヤマブランドでの再出発を決意。直談判をするなど粘り強い交渉の末、取引先を獲得し、ヨネヤマブランドの旗揚げを果たす。
 - 1962年 当社バドミントンラケットの原点と言われるNo.1000、2000を発売。当時の関東大学リーグで、初優勝した中央大学が使用したラケットにちなみ、その活躍が「茶色の旋風」と呼ばれ、その後No.2000が時代をリードする。

- 1963年 海外へのラケットの流通を確立するため、貿易部門を分離独立。**同年事務所・工場を全焼**するも、突貫工事で事務所と工場を3日で建て直し、**1週間後には新しい製品を出荷**。これが取引先からの信用をさらに強固なものにし、念願の**生産・販売日本一を達成**。
- 1965年 埼玉に**東京工場を設立**し、シャトルコックの製造を開始。
- 1966年 当時社員の秋山真男氏が、**バドミントン全英選手権シングル**で**準優勝**。同年ヨーロッパで主流となっているスチール製のラケットに対抗し、世界初の**T型ジョイント搭載の、国産初金属製バドミントンラケット「B-7000、アルミナエース」**を発売。

- 1970年 元社員の竹中（現姓 梶野尾）悦子さん、バドミントン全英選手権シングルス初優勝。以後、ダブルスで4回優勝。
- 1978年 バドミントンラケットで、世界で初めて100gをきった「B-8500、カーボネックス8」を発売。
- 1983年 株式会社ヨネックス東京工場（現東京工場）にてストリングの製造を開始。
- 1991年 社員の陣内貴美子／森久子が全英バドミントン選手権女子ダブルス準優勝（決勝進出は日本人として11年ぶり）。

- 1992年 **バルセロナオリンピックよりバドミントンが正式種目として採用され、公式用具にヨネックスの製品（シャトルコック、コートマット、ポール、ネット）が採用されると共に会場でストリングングサービスを提供。**
※アトランタ・シドニー・アテネ・北京・ロンドン・リオ・2020東京・2024パリに於いてソールサプライヤー契約。
- 1996年 **アトランタオリンピック、バドミントン競技で全24個中23個のメダルをヨネックス製品使用選手が獲得。**
- 2004年 **バドミントンが国技のインドネシア、マレーシアで、消費者から最も信頼されているバドミントンスーパーブランドとして認定される。**

■ BWFパリオリンピックランキング日本選手出場者（4/16日付）

Category	World Rank	Country	Player	Point
Men's Singles	5	JPN	Kodai NARAOKA	82815
	11	JPN	Kenta NISHIMOTO	64982
Women's Singles	4	JPN	Akane YAMAGUCHI	93517
	11	JPN	Aya OHORI	64417
Men's Doubles	6	JPN	Takuro HOKI	84362
		JPN	Yugo KOBAYASHI	
Women's Doubles	4	JPN	Nami MATSUYAMA	88485
		JPN	Chiharu SHIDA	
	7	JPN	Mayu MATSUMOTO	78822
		JPN	Wakana NAGAHARA	
Mixed Doubles	3	JPN	Yuta WATANABE	96591
		JPN	Arisa HIGASHINO	

※オリンピック出場枠 シングルス/38名
ダブルス /16組

- 2010年 バドミントン契約選手のリー・チョンウェイ（マレーシア）が、6つのスーパーシリーズタイトル獲得とスーパーシリーズ・マスターズ・ファイナル3連覇を果たす。
- 2013年 バドミントンラケット ナノレイZ-スピードがスマッシュ初速493km/hで世界最速記録を更新。ギネス世界記録™
- 2016年 リオデジャネイロオリンピックで高橋/松友ペアが日本人初となる金メダルを獲得。
現在も世界ランキング上位に日本選手が多く入っている。
- 2019年 男子シングルスで桃田選手が世界ランキング連続1位記録、世界選手権2連覇、国際大会11連勝の新記録を樹立。

2023年 サッウィサイラジ・ランキレッディ選手（インド）がこれまでの記録を72km上回る**565km/h**を叩き出し、**10年ぶりに世界最速のスポーツ**であるバドミントンにおけるギネス世界記録™を更新、さらにタン・パーリー選手（マレーシア）も**女子の世界最速となる438km/hのスマッシュ**を記録し、女性の部門で初のギネス世界記録保持者となりました。

この記録は2023年4月14日の計測結果を基にギネスワールドレコーズ公式認定員によって検証されました。

使用ラケット：NANOFLARE 1000 Z

使用ストリング：BG80（S・ランキレッディ）

BGXB 63（T・パーリー）

使用シャトルコック：トーナメント

2024年 長岡市にあるヨネックス長岡工場の隣接地に新たな研究開発施設「*Yonex Performance Innovation Center (ヨネックスパフォーマンスイノベーションセンター) Blue Lab*」を開設。

屋外テニスコート

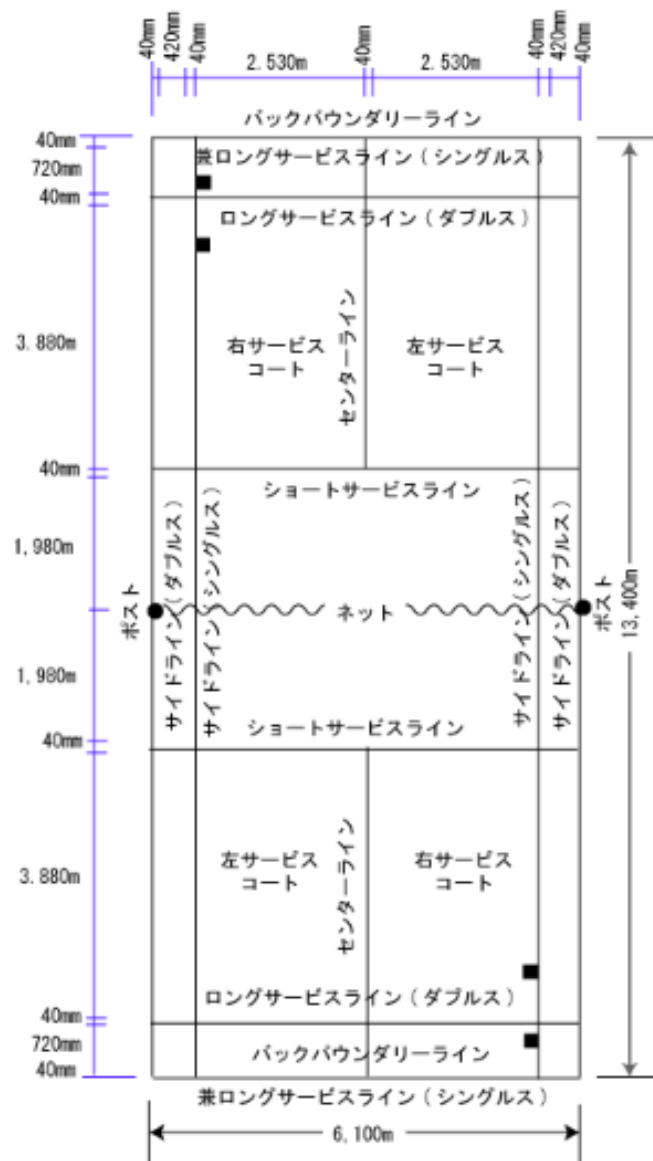


可変式アリーナ (Minoru Yoneyama Arena)



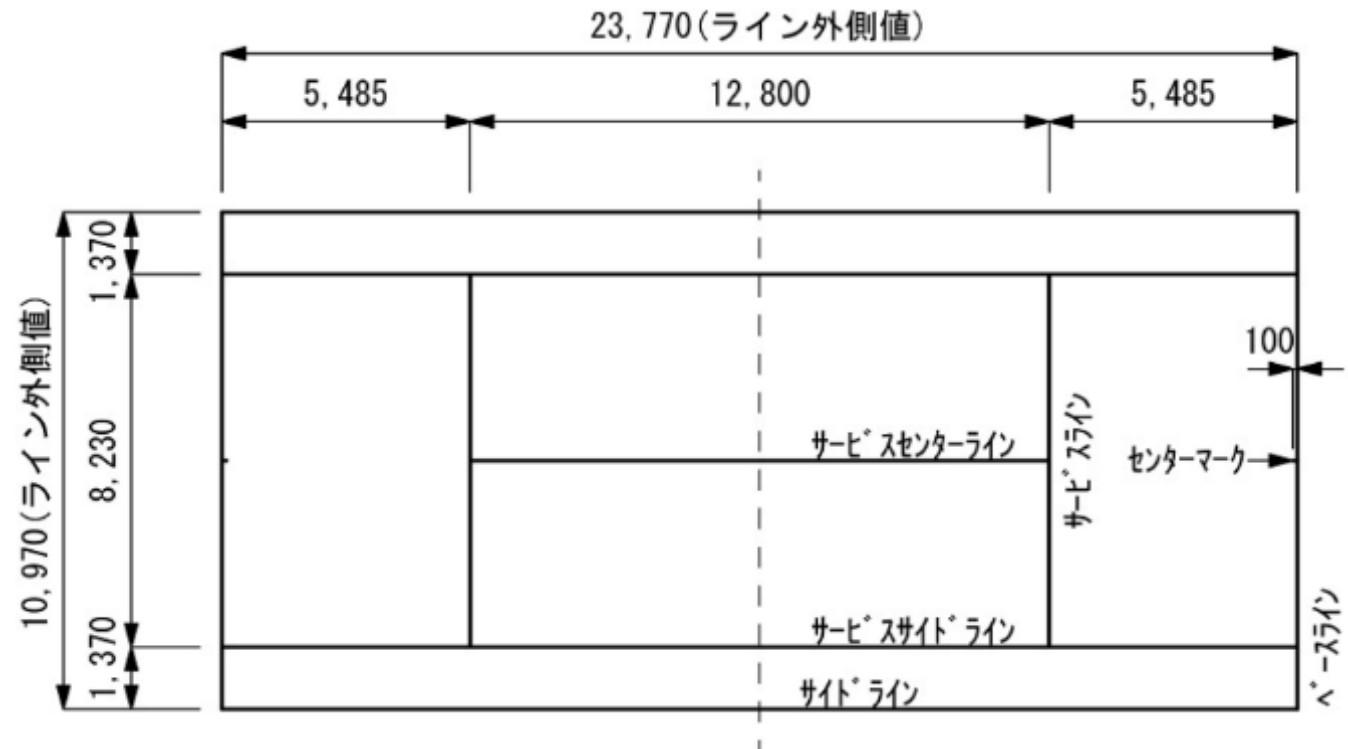
□バドミントン、テニスコート広さの違い (日本バドミントン協会、

■バドミントン



■テニス

テニス協会ホームページより)



注釈) ラインの幅は25mm～50mm以内。但し、
 ベースラインの幅は25mm～100mm以内、
 サービスセンターライン、センターマークの幅は50mm。

□バドミントンラケットの規格 (日本バドミントン協会ルールブックより)

ラケットは、フレームの全長で680mm以内、幅は230mm以内とし、それを構成している主な部位については次の(1)から(5)のとおりとする。

各部位の名称は図Cのとおりである。

(1)ハンドルは、プレーヤーがラケットを握るための部分である。

(2)ストリングド・エリアは、プレーヤーがシャトルを打つための部分である。

(3)ヘッドは、ストリングド・エリアの外枠をさしている。

(4)シャフトは、ハンドルをヘッドに繋ぐ部分である。

(本条第1項(5)参照)

(5)スロート (スロートのあるラケットの場合) は、シャフトをヘッドに繋ぐ部分である。

□バドミントンラケットの規格（日本バドミントン協会ルールブックより）

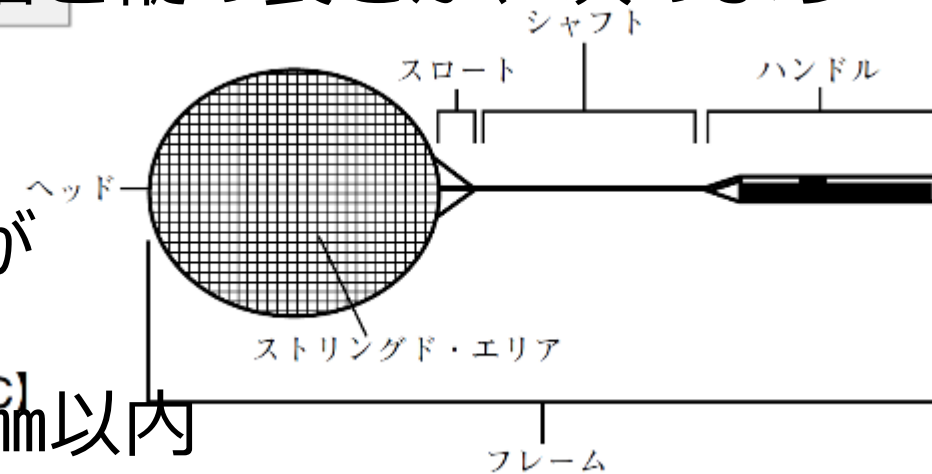
ストリングド・エリアは

(1) 平らで、交差させたストリングスがヘッドへ繋がれてできている。そして、そのストリングスは、交互に編み合わせても、また、その交差する箇所で結合させてもよい。網目の大きさは、基本的に均等でなければならない。特にエリアの中心部の網目は、他の部分に比べて粗くなくてはならない。

(2) 全長（縦の長さ）は280mm以内、幅は220mm以内とする。しかしながら、ストリングスを張って広がったエリアの幅と縦の長さが、次のような条件を満たすのであれば、ストリングスをスロートまで広げて張ってもよい。

① ストリングスを張って広がったエリアの幅が35mm以内

② ストリングド・エリア全体の縦の長さが330mm以内



□バドミントンラケットの特徴 (ヨネックスホームページより)

重量規格

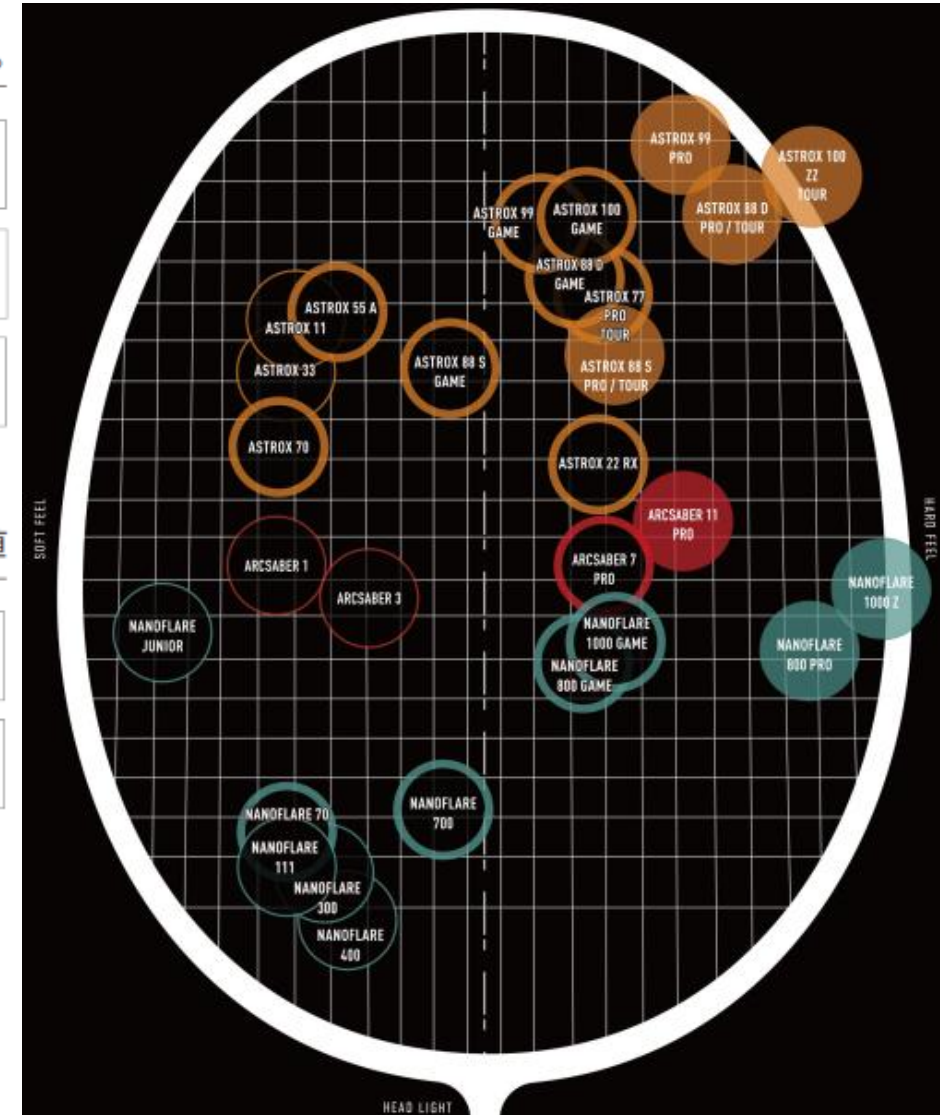
※ラケット本体には、Ave. (average) にて表記しています。

2F	平均68g	F	平均73g
5U	平均78g	4U	平均83g
3U	平均88g	2U	平均93g

グリップサイズ規格

※グリップ周長の中心値

G7	75mm	G6	78mm
G5	81mm	G4	84mm



□シャトルコックの特徴（規格）（日本バドミントン協会ルールブックより）

シャトルは天然素材と合成素材の両者を組み合わせるか、いずれか一方から作ることができる。ただし、どの素材で作られたものでも、コルクの台を薄い皮で覆ったものに天然の羽根をつけたシャトルと同様の飛行特性がなくてはならない。

天然の羽根をつけたシャトル

- (1) **シャトルは16枚のガチョウ羽根を台に取り付けたものとする。**
- (2) 羽根の長さは、先端から台の上まで、62mmから70mmの範囲の同じ長さでなければならない。
- (3) 羽根の先端は直径58mmから68mmの円形になるようにする。
- (4) 羽根は糸または他の適切な素材でしっかりと縛りつける。
- (5) 台の直径は25mmから28mmで、底は丸くする。
- (6) シャトルの重さは、4.74gから5.50gとする。 **（約100円玉1枚分）**

□ シャトルコックの特徴（規格）

■ 天然の羽根でないシャトル

- (1) 天然の羽根の代わりにスカート部分が合成素材でできているものとする。
- (2) 台は本条第2項(5)に述べられたものとする。
- (3) 寸法及び重量は、本条第2項(2)、(3)、(6)のとおりとする。ただし、合成素材は天然の羽根と比べて、比重及び特性の違いがあるので、10パーセントまでの差を認める。
一般的な形状やスピードやフライトに特に変わりがなければ、高度または気候のために大気の状態が規定のシャトルでは不適切である場合に限り、（公財）日本バドミントン協会の承認のもとに上記の細則を変更してもよい。

□ シャトルコックの特徴（規格）

■ 第1種検定合格球

日本バドミントン協会が主催または主管する大会およびその大会の予選会で使用が義務づけられているシャトル。

F-90・F-80

■ 第2種検定合格球

日本バドミントン協会加盟団体が単独で主催する大会で使用が義務づけられているシャトル。

AS-700



温度表示番号



温度別適正分類表

温度表示番号	適正範囲温度
1	33℃以上
2	27℃～33℃
3	22℃～28℃
4	17℃～23℃
5	12℃～18℃
6	7℃～13℃
7	7℃以下

□ シャトルコックの特徴（飛距離）

（東京都ホームページより）

- シャトルの番手は5度刻みで設定され、1番手の違いで約25cm飛距離が変わります。（気温1度の違いで約5cm飛距離に差が出る）

- 空気の濃度（高度）によっても飛距離が変わります。

（海拔100mにつき約9cm距離が伸びる）

標高800mの場合約89cm飛距離伸びる為 - 3番手が適正スピードとなる。

（岡谷市）

- 都庁体育室は33階にあり、標高は200mで約18cm距離が伸びる。



□ スtring の特徴

SPEC CHART

特性		弾 力							コントロール				耐 久						
品名		EXBOLT 65	EXBOLT 63	AERO SONIC	BG66 FORCE	BG66 ULTIMAX	NANOGY 95	BG80 POWER	BG80	SKYARC	AEROBITE		AEROBITE BOOST		EXBOLT 63	強ナタン	NANOGY 95	BG66	BG.ITO (200m)
ゲージ(mm)		0.65	0.63	0.61	0.65	0.65	0.66	0.68	0.68	0.69	標準 0.67	標準 0.61	標準 0.72	標準 0.61	0.68	0.70	0.69	0.70	0.70
材質	楕円形フォージドファイバー													●					
	フォージドファイバー	●	●																
	ハイスリングファイバー								●										
	コンパクトフィールド構造			●						●		●	●						
	ペグトランス							●	●				●						
	ブレードニング加工	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
コーティング	エラストンティアクター (ナノアロイ®適用)	●												●					
	PUコーティング										●		●						
	衝撃吸収ナイロン(ナノアロイ®適用) 複合コーティング	●																	
	ハイドロナタン複合コーティング															●			
	CSカーボンナノチューブ 複合コーティング						●										●		

■ ノアインドアテニスクラブでのバドミントンスクール（ノア確認済み）



- 「ヨネックスバドミントンアカデミー」
東京・埼玉・神奈川・茨城・大阪の全国8カ所で
通年教室として開催

